

## 七、試驗場所ニ於ケル水溫比重

一月二十日午前十一時

干 潮

氣溫十七度水溫十八度 比重二〇、〇〇

同日午後二時測リタルモ降雨ノ爲淡水過剩ニテ赤沼式B號比重計ニテハ測定不能

二月二十二日午後零時三十分 氣溫十六度水溫十八度五分比重二一、六

二月二十二日午後三時 满潮

二月二十二日午後三時 满潮

氣溫十九度五分水溫十九度 比重二一、六

二月二十二日午後三時 满潮

## 四、公魚卵移植試驗

本年度末ニ於テ當業者ノ熱心ナル要望アリタルニ依リ茨城縣水產試驗場ト連絡ノ下ニ長距離移植試驗ノ意味ヲ以テ公魚卵十萬粒ヲ移送セリ其ノ經過次ノ如シ

一、移植場所 識名園池（尙候爵家所有）

### 二、卵ノ移植方法

二月九日採卵セル着生卵四枚ヲ運搬函一個ニ收容シ一月二十一日午後十二時十二分土浦驛發途中大阪斡旋所經由ニテ一月二十七日午前七時入港ノ臺中丸便ニテ那覇着直チニ移植池ニ運搬シ檢卵後孵化箱ニ收容シ水中ニ垂下ス

那覇着當時ノ氣溫ハ攝氏ノ十九度函内ノ溫度攝氏十三度死卵約半數ヲ認ム

### 三、孵化經過

移植場所ニ於ケル水温ハ攝氏ノ十九度ヲ示シ且ツ當日ハ漆雨ニ依リ池水面ハ著シク混濁シ孵化ニハ甚ダ不適當ト認メタルモ比較的清澄ノ箇所ヲ選定シ卵ヲ垂下シタルモ其の後續々死卵ノ増加スルヲ認メタルニ依リ殘部本場冷藏庫内ニ收容シ攝氏八度ノ水温中ニテ試験セルニ一週間後ニ於テ全部ノ孵化ヲ見尙稚魚ハ十數日間生育セリ以上ノ結果ヨリ見テ前記移植池ニ於ケル斃死ノ原因ハ明カニ水温ノ關係ニ依ルコトト認メ得タリ本試験ハ斯ノ如ク不結果ニ終リタルモ本邦最初ニ於ケル該種ノ長距離移送トシテ貴重ナル試験資料ヲ得タル次第ナリ

移植ノ途中ニ於テ約半數ノ死卵ヲ生ジタル原因ニ付テハ當初土浦驛ヨリ發送セル卵ハ大阪驛ニテ受取り更ニ氷ヲ追加シテ臺中丸船員ニ托セシモ四日間ノ航海中悉ク氷ハ溶解シ爲メニ水分ノ切レタルト公魚卵トシテハ不相應ノ高氣温ニ遭遇セシタメ多數ノ死卵ヲ生ジタルモノト認メラル尙着卵移植當日ハ南國特有ノ盆ヲ覆スガ如キ漆雨一日ニ亘リ之レガ爲メ池水濁甚シカリシト水温高ノ爲メ死卵ヲ生ゼシモノナルベシ

#### 四、淺海適地調査

本年度ニ於テハ左記四箇所ヲ調査セリ

國頭郡大宣味村鹽谷灣

國頭郡今歸仁村湧川

國頭郡本部村濱元

國頭郡本部村邊名地

中頭郡北谷村北謝川

#### 五、魚類調査

前年度ヨリ引繼キ魚類ノ調査ヲ行ヒ本年度迄ニ調査セルモノ百六十種ニ達シタルヲ以テ之レヲ分類シ第一回ノ魚類目錄ヲ製作シ卷末ニ載セタリ

## 魚類調査

沖繩縣ハ本土ノ最南端ニ位シ太平洋ト東支那海間ノ黑潮流域ニ介在スル大小幾多ノ島嶼ヨリ成り殊ニ沿岸一帶ハ隆起珊瑚礁ニ依ツテ構成サレ此ノ間ニ棲息セル魚族モ沿岸ニ沖合ニ其ノ種類多種多様ニシテ其ノ体色何レモ鮮色濃厚ニシテ學術的ニ觀賞的ニ珍重セラル、多ク又產業上重要ナル位置ニアルモノモ其ノ種類少シトセズ然ルニ本縣魚類ニ就テハ今日迄殆ンド學術的ノ研究ヲ缺グニ依リ茲ニ已往ニ採集セル標本ヲ整理シ其ノ種族ノ判明セルモノ百六十餘種ニ達シタルヲ以テ一先ヅ魚類目錄ヲ編纂スルコトトセリ尙ホ分類ニ付テハ *Baulinger* 氏ノ方法ニ從ヒ又科ノ分ケ方ハ殆ンド田中博士ノ魚類學ニ依リタリ勿論本誌ハ業務ノ餘暇ニ於テ製作シタルモノナレバ多少誤謬モアルベキニ依リ後日更ニ精査ヲ加ヘントスルモノナリ

尙魚類査定ニ當リ御指導ヲ賜リタル田中博士ニ深甚ナル謝意ヲ表スルモノナリ